

みんなの議会

2020年4月
第81号



元気いっぱい!!

第1回定例会 2

町政執行方針並びに教育行政執行方針など30件の議案を審議しました。

大沼議員の一般質問 7



新型コロナウイルスについて沼田町の対応を質問した他、8名の議員が一般質問をしました。

常任委員会所管事務調査 8

- 総務民教建設常任委員会 最終報告
- 産業福祉常任委員委員会 中間報告

予算等審査特別委員会 10

令和2年度一般会計予算50億5千万円の予算案を審議し可決しました。

令和2年 第1回 定例会

3月11日～18日

3月11日から3月18日まで令和2年第1回定例会が開催されました。

上程された主な議案

総務民教建設常任委員会
所管事務調査報告、産業福祉常任委員会所管事務調査
中間報告があり、大沼委員
長、上野委員長の報告の通
り受理されました。

◎同意案件2件

沼田町名誉町民に西田篤
正氏、公平委員に堀達人氏
の選任に同意しました。

◎専決1件

庁舎内ファイルサーバー
構築委託料として
275万円

◎補正予算

令和元年度一般会計補正
予算の総額に5056万円
を減額し、総額54億268
5万円としました。

地方交付税の確定や不用
額の精査を行いました。歳
出の内容は次のとおりです。

〈主な内容〉

- 自動車学校指定管理委託料 650万円増
- 地域おこし協力隊活動費 1712万円減
- 国民健康保険特別会計繰出 427万円増
- 子育て支援費 認定こども園児童増等 205万円増



少子化の影響で免許取得者が減少する自動車学校

●スキー場管理費

ナイター日数増加等
129万円増

●長期債繰上償還元金

9257万円増

◎主な条例改正

- 沼田町附属機関設置条例
- 職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例
- 沼田町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例



高穂スキー場はナイター日数を増やし利用者確保を図った

◎令和2年度一般会計特別会計予算

- 沼田町企業立地促進条例の一部を改正する条例
 - 沼田町学童保育所条例の一部を改正する条例
- 鵜野副議長を委員長に篠原議員を副委員長とし、予算等審査特別委員会を設置して令和2年度会計予算案

9件、予算に係する条例3件を付託しました。
(詳細10～11ページ)

議決された意見書

公立学校教員に1年単位の
変形労働時間制を適用し
ないことを求める意見書

政府は令和元年12月、通常の勤務時間を延長し、かわりに夏休みなどの勤務時間を縮める1年単位の変形労働時間制を導入することができるよう「公立学校の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」(給特法)を一部改正しました。新学習指導要領への対応等で業務はむしろ増える傾向にあつて、教員の時間外労働はいっそう拡大しています。

- 1年単位の変形労働時間制を公立学校教員に適用する条例制定をしないこと。
- 教員が子どもとしっかりと向き合い、授業の準備をする時間の確保など、「子どもの学習権の保障」という観点から教員の労働環境の抜本的な改善を行うこと。

決議案

「民族共生の未来を切り開く」

アイヌ文化の復興・発展の拠点としてウポポイ(民族共生象徴空間)は北海道白老町ポロト湖畔に、4月24日誕生する。先住民族アイヌを主題とした日本初の「国立アイヌ民族博物館」と「国立民族共生公園」等からなるこの施設は、国内外への総合的な情報発信の強化となり、国民理解の促進が大きく期待される。

よって、沼田町議会は、ウポポイ開設を機に、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現が図られ、北海道が魅力ある大地であり続けるため、沼田町民の協力を得て「民族共生社会の未来を切り開く」決意をここに表明する。

表紙の写真



小中学校は休校中でも認定こども園の園児は元気がいっぱいでした。

町長への一般質問

問 消費税と適格請求書等の課題は

答 農産加工工場は課税事業者登録をする



菅 地 畑
議員

農産加工工場は免税事業者だが、消費税の転嫁ができないような請求書を出していることでのデメリットはないのか。

3点目に消費税は経理も申告書の書き方も複雑で非常に分かりづらいので、簡素化できるよう、国にも要望していただきたい。



所得税で令和元年分で現在200

件ほどの取り扱いをしている状況でありますが、消費税確定申告書については平成26年に1件取り扱ってか

問 令和元年10月から軽減税率を含めた消費税

の改正によって、個人事業主は帳簿作成から消費税の確定申告書を作るまで非常に苦勞しながら複雑な事務経理をしています。

商工会や農業青色申告会を中心に確定申告を仕上げている方が多いようですが、令和5年から本格導入される消費税の適格請求書等保存方式（インボイス）において想定される課題を問う。住民生活課での確定申告受付件数と指導はどのような状況か。

2点目に適格請求書等保存方式になると、町直営の

益税の課題とは

適格請求書等保存方式に移行すると消費税を免除されていた（主に課税売上1千万円以下が該当）事業者が取引先との事情で課税事業者を選択することでの負担が懸念される。

事業者が納める消費税	=	受け取った消費税 (売上げにかかると消費税)	-	支払った消費税 (仕入れにかかると消費税)
------------	---	---------------------------	---	--------------------------

ら以降の受付はありません。税制改正時には税務署と連携を取りながら制度の運用に誤りがないよう取り組んでおります。

農産加工工場については、令和3年からの受付に合わせて、課税事業者・適格請求書発行事業者登録を行う予定です。取引先業者ある

いは原材料生産者に対してデメリットはないと思いますが、消費税の納税負担が予想されます。国ではマイナンバーカードによる電子申告を推進してはいますが、手続きや税務事務の簡素化も含めて税務署などを通じて要請していきます。

問 介護施設再編成の必要は

答 再編成の必要性は大きい



高田 勲
議員

問 沼田町は色々な介護事業が行われています。

特に旭寿園が非常に厳しい状況で一般会計と基金の繰入金で4300万円ほど膨らみ、このまま特別会計を運営していくことは困難です。主な要因は職員確保のための人件費と会計年度任用職員制度による増加です。建物も昭和60年の開所で築

35年ほど経過し、10年ほど前に大規模改修をやっています。

高齢者住宅は、以前から必要だとの意見があり、新年度予算には設計費も計上されています。小規模多機能と特養のサテライトスポットもコンパクトエコタウン構想の中にあつたはずですが、どういった規模と施設が望ましいのか、通所と在宅と施設介護の需要を見極めて介護施設の再編成を図る時期ではないか。



介護職員は人材不足が課題です。

職場環境の向上と改善、中間的な立場の指導者の育成も行いながら取り組んでいます。

将来的には施設定員などを見直すことも選択肢とし、高齢者福祉施設の総合的な検討を進めていきたいが、特別養護老人ホームは重要な施設であり、無くすことはできないと考えています。

全体構想は、高齢者福祉施設の確な運営の一方で、町民の皆様が利用する在宅福祉など再編成の必要性は大きいと考えております。現在プロジェクトを設置して協議を重ねており、あらためて町としての方向性を整理した上で提示をします。



人材不足が心配される介護現場

問 介護施設運営と財源理念は

答 施設の存続に最大限努力する



之 範 野 鶴
議員

特別会計に対する理念と考
え方を聞きたい。



現在、入所者数
が定数を下回って

いる状況なので、待機者を
確保するため空知や留萌管
内の病院などへ広域的に営
業を行っています。

問 令和元年度の特別養
護老人ホームの会計は
大きな赤字決算になると感
じています。

この原因は国の平成27年
度介護報酬改定による減額
見直しが大きな要因であり
ますが、今年度の入所者が
10名以上の定員割れであり、
それに伴う介護給付収入が
減少しています。

令和元年度は約4000
万円の繰入補正がされ基金
が枯渇する中、令和2年度
は一般会計からの財政支援
による予算組となります。
今年度の収入減少の対策を
どのようにに行い努力され
たのかを聞きたい。

特別会計はその会計内で
収支を処理することが望ま
しいと思うが、一般会計や



施設利用者増が望まれる旭寿園

介護アドバイザーの招聘
事業も着手し、職員の介護
技術、モチベーションやサ
ービスの向上を図る取り組
みを進めています。更に、
庁舎内において介護施設の

現状と課題、将来の方向性
を検討しています。

特別会計は、本来その会
計の中で収支を図ることが
基本でありますが、今回入
所者の確保が難しい状況か
ら、一般会計において施策
的財政支援を行い、経営の

問 農業の担い手と新規就農対策は

答 自立支援に向けた体制づくりを実施していく



淳 伊 藤
議員

手の確保についても懸念さ
れます。

農業後継者や新規就農者
に対しての支援が重要と考
えるので、担い手対策の方
向性について聞きたい。

問 沼田町では生産意欲
の高い農業者が多いこ
とから人・農地プランを介
して担い手への農地集積が
図られています。将来を
見据えた時に沼田農業を支
える人材がどのような推移
をたどるのか危惧をしてい
ます。

また、集積した農地を後
継者がいない事により離農
した場合、平均20ha以上の
耕作面積である中で、受け

安定を図ったところ。す
今後の対策として、広域

的な営業と収支改善を行い、
入所者の皆様が安心して住
み続けられる施設、また、
選択していただける施設運
営を進めて努力していき
たいと思います。

制度構築など、担い手確保
に向けた農業振興公社の設
立準備について検討を進め
ていきたい。

また、第3者への継承を
進めるうえで、双方に対す
る支援制度・体制の構築が
重要であると認識していま
す。

新規就農者の受け入れ態
勢の構築と、選択してい
ただける魅力ある沼田農業を
提示できる体制を早急に進
めていきたい。



農家戸数の維持、
拡大とあわせ、地
域での農地流動化に向けた
経営体の育成が重要です。
新規就農者に対して土地
利用型だけでなく、様々な
形態も想定し、所得確保の



農業への新たな人材の必要性

伊藤議員のそのほかの質問

問 公共施設あり方プロジェクトの公表と状況は

答 6月頃に説明する場を設け、方針を決めていきたい



訓子府町の合葬墓

合葬墓については、日本古来の文化や風習が維持できなくなる都市文化によって需要が高まっていると認識しています。

合葬墓の設置によって家族の繋がりがや、地域コミュニティが良くなると思えません。

高齢で身寄りのない方が増えてくるというところは否定できませんが、町民から直接話を聞いていません。そういう意見が多く出てく

問 今後、親類縁者がいないなど様々な事情によりお墓の承継や、焼骨の管理が困難になることが予想されます。家族の繋がりがしつかりしている場合は、先祖伝来



篠原 暁
議員

問 沼田町にも合葬墓が必要では
答 町民の声が高まれば考えなければならぬ

のお墓を守っていきませんが、身寄りのない高齢者などのために、数千円から数万円程度で利用できる合葬墓を開設する自治体が近年増えています。

しかし、一部を除きその自治体に住む人しか利用できません。いつまでも住み続けてもらうために、沼田町にも合葬墓を開設できないか聞きたい。



合葬墓について

問 沼田町に高規格道路が通つたときに、企業誘致や食料備蓄構想があり、今の場所にインターチェンジができました。その時、大水害時の避難経路としても利用できるように、市街地に近い場所がすでに用地買収され、高規格道路に乗り降りできるよう土盛りも



上野 敏夫
議員

大規模災害発生時のいろいろな環境を想定して、対策を講じておくということは必要だと思えます。高規格道路自



大規模災害発生

問 高規格道路を災害時に活用しては
答 可能性を開発局に確認させていただく

篠原議員のそのほかの質問
問 日本経済が低迷している原因は消費税の増税であり、消費税を5%に戻すことを国に求め
答 家計支出への影響は小幅であり、消費税の制度に言及できる立場にないので差し控える。

るといふ状況になれば、考えなければならぬが、今はまだ時期尚早かと思えます。

行われ、役場と開発局の間で確認がされていたと聞いています。

雨竜川と幌新太刀別川に挟まれた沼田町は、大雨で橋が決壊すれば孤立してしまいます。災害に強い町づくりのために、早急に開発局と話をして行動を起こすべきと考えるがどうか。



高規格道路に乗り降りできるよう拡幅されている

Google Earth より

体の目的としては、災害発生時に人を避難させる場所ではなくて、物資を円滑に運ぶためのルートであると思えますので、難しい部分があるかもしれません。

今後、避難と救援物資の輸送など複数目的に使える可能性があるのか、開発局に確認をしてみたいと思います。

問 町民と双方向で「オール沼田」を
答 ワークショップ形式も取り入れる



長野 時敏
議員

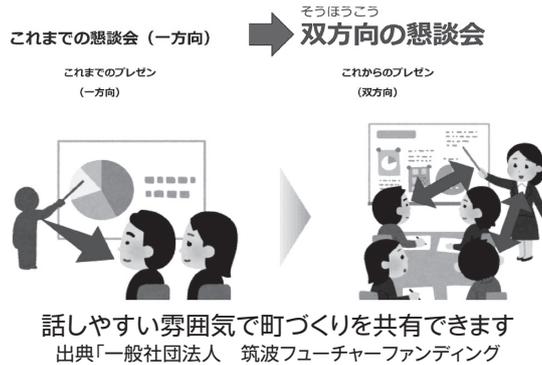
よる町民が誇りをもてる沼田の創造をどのように考え、行うか、町長の本気度を聞きたい。

問 町長は執行方針の中で三つのプロジェクトと「関係人口拡大」に向け、「オール沼田」で取り組んでいくと述べられました。次は、いよいよ実行です。

町民に読んでもらい、考えてもらい、参加してもらうことこそが真の「オール沼田」と考えます。2月の沼田町防災研修のように、説明型からワークショップなどの双方向型へと町民を巻き込み、ふるさと創造沼田町の町づくりを活かすときではないか。

移住定住した「風」の人々の考えに耳を傾け、今住んでいる「土」の人々と融合させ未来に向け舵を切っていただきたい。

双方向型の懇談会などに



本気です。その上聞く耳を持つて

意向を確認して、できることから取り組んでいきたいと思っています。各関係団体との懇談会も開催しており、町民の皆さんへの情報提供とご意見を伺うことを

積極的に取り組んでいきます。双方向の環境は取っているつもりですが、問題意識を持つ人が集う場の必要性

をもちたい。双方向の環境は取っているつもりですが、問題意識を持つ人が集う場の必要性

問 ランド・マークを看板でつなげ
答 人を呼べるヒット商品が必要



久保 元宏
議員

やコーディネーターの人材を一人でも多く確保したいと考えます。ワークショップ形式も取り入れていきます。

ランド・マーク（目印や対象）で統一し、看板でつなぐことです。しかし、沼田町の看板はデザインの魅力は少なく、インバウンド（外国人が訪れる）の時代なのに多言語化されていないばかりか、サビつき、雪に埋もれ、色が落ち、古い案内の表記のままメンテナンスさえされていないままです。

この5年間で、農業は過去最高の利益を上げ、商業は商店や食堂が衰退していきましました。また幌新地区と商店街の格差拡大も心配しています。町長は「商工業者自らの創意工夫が必要」と言われるが、政策のカンフル剤が必要

そのためには、沼田町全体を「見える化」するためのデザインが必要です。効果があるのは沼田町のストーリーやSNSで拡散したくなる形状風景の魅力をラ

このままでは沼田町は、高規格道路で留萌方面から湯内峠に抜けて行く印象に

残らない通過だけの町になってしまいます。町長の緊急スローガン「関係人口UP！大作戦」のためには、複数のランド・マークを看板でつなぐことが、町の魅力をアップさせることになると思うが考えを聞きたい。

役場が管理している看板がメンテナンスされていないことは分かりました。ただ、看板だけで人を呼べるとは思いません。話題性、独創性のあるヒット商品を販売できることが町外や海外から人を呼べることに繋がると思います。

そのためには、商業を支援し、町の素材をつないでいきます。



町民会館横の看板はメンテナンスされず今は無い幼稚園や中学校を指しています

問 新型コロナウイルス対策は

答 最悪の事態も想定して対応したい



大沼 恒雄
議員

問 新型コロナウイルスに関して、沼田町でも予防対策本部が立ち上がりましたが、もし発症の疑いが出た場合に問い合わせる窓口が沼田町になっていません。感染が出た場合の様々なシミュレーションはどうなっているのでしょうか。

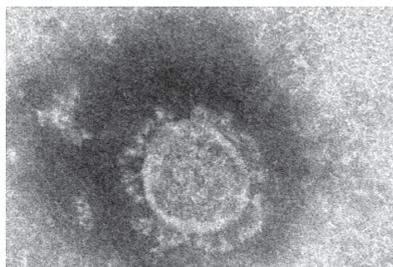
政府は新型インフルエンザ対策特別措置法の改正を行いました。沼田町で感染者が出た場合の特別措置はどのように考えますか。PCR検査は迅速に行われるべきものと考えますが、町立沼田厚生クリニックにPCR検査キットを導入する考えはあるのか聞きたい。



現時点での対応は、保健所を窓口として情報を得た上での対応になります。様々な状況において、最悪のシナリオを想定した上で国や道と連携し、しっかりと情報収集をします。

厚生クリニックで受診時に熱があったり感染者との接触がある患者は、院内の入室を控えてもらい、保健所の指示を仰ぎます。

PCR検査機は専門的知識を要するため、厚生クリニックへの導入は難しいと考えます。



コロナウイルスの電子顕微鏡写真
〈画像提供:国立感染症研究所〉

傍聴席の生の声

前回に比べてスクリーンは見やすくなっているが、もう少し利用率が高くなればと思います。(60代 男性)



今回の定例議会の傍聴者は、10名でした。

みなさまの傍聴をお待ちしています。

町議会のホームページ
をご利用ください

過去の議会広報誌や、議事録が見られます。

「沼田町議会」で検索！
スマートフォンはこちらから→



第2回臨時会

令和2年3月26日

◎ 一般会計補正予算
新型コロナウイルス
緊急経済対策事業
443万円

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、飲食店への影響が大きいことから、消費喚起支援措置として、町内全世帯を対象に町内飲食店でのみ使えるクーポン券を、一世帯あたり3000円分配布するものです。

総務民教建設常任委員会 所管事務調査報告

「児童生徒の 通学路の安全確保」

平成24年4月以降、全国各地で登下校中の子どもたちが巻き込んだ事件や事故が頻発している。交通事故は、運転者の資質や社会環境に起因するところもあるが、通学路の点検や整備、改良が充分に行われていない現状がある。

登下校時における子どもの安全を確保するために多岐にわたる努力がなされているが、大きく貢献してきた既存のボランティア組織が高齢化し担い手は不足している。スクールの運行は再

編されているが、通学路における安全対策を取り巻く情勢は変化している。

本町の関係機関で各々に通学路合同点検を実施されているが、情報の共有が十分に思われる。

北海道教育庁生徒指導学校安全課では、今後の通学路安全対策は、子どもたちが学校に通う際の通学路の交通実態に合わせて新たにスクールゾーンやキッズゾーンを指定することによって啓発活動が充実すること

を期待していた。岩内町教育委員会では交通安全プログラムに沿ったPDCAサイクルの検証を中心に聞き取りをした。小中高校と幼稚園のほか保育園が複数混在しているが、コンパクトなエリアにまとまっており、徒歩による登下校の安全確保には町内会を中心とした地域の協力が不可欠になっている。登校時間に合わせて、各小学校に婦人指導員を毎日1人ずつ配置していた。他にも不審者情報の取り扱いや空き地・空き家など

の問題が散見された。

地域を取り巻く環境に合わせて安全意識を常に向上させることが肝要であり、新たな事案にも対応することが可能な充実した見守り体制や関連する環境の整備を図り、更には子どもたちの危機管理能力向上のための安全教育の充実が必要と思われる。

以上、調査のまとめとして次の意見を付して報告とする。



1. 通学路の安全確保

問題となる通学路の標識や横断歩道の設置に時間を要することから、早めに公安委員会に要請し実効性ある取り組みに努めることが必要である。

本町においても、通学路交通安全プログラムの更新には多様な目線と、PDCAサイクルを活かした更なる安全向上を目指すことを望む。

2. 見守り体制の強化

子ども110番・沼田っ子サポーター事業が停滞している。事業の改善を行い、コミュニティスクールと連携した見守り活動を積極的に提案すべきである。

犯罪抑止力効果の高い防犯カメラの設置と、不審者情報を幅広く地域住民と共有するようにメールぬまたの活用を望む。

3. 子どもたちの意識向上

子どもたちが作る通学路マップの学習や、危険予知訓練の実施などで、感受性を高める安全教育の機会を設け、子どもたちの安全意識の向上を図るよう望む。

産業福祉常任委員会 所管事務調査中間報告

「観光による 交流人口の創出」

令和元年上期では空知管内の観光客数は前年の実績から6%増加している中、沼田町においては1・5%減少し、観光客入込調査でも年々減少傾向にある。このことは、人と資源をつなぐ交流人口の新たな関係性が課題であり、飲食業や宿泊業を中心とした商工業者への影響も少なくない。

高齢化や人口減少が進む中で、沼田町の魅力を発信し理解してもらうことは、都会からの移住や定住につながるものであり、町民と観光客が触れ合い交流人口

を増やすことは、将来の発展には重要であると思われる。幌新地区には沼田町の観光資源が凝縮されているが、全体としては十分に活かされていない。また、食に関しても良質で付加価値のついた農産物が生産、加工されているが、それらを活用した目玉となる商品の開発には至っていないのが現状である。沼田町が交流人口を重視する中、観光による交流人口の創出についての展望と可能性を調査した。

真狩村では、従来の素材供給型農業からの脱却を目指し、地元産の食材を活用したレストランをオープンし、地元食材のブランド力向上に加え、携わる村外の人と関係を深め交流人口の拡大を図っている。

倶知安町では、通年型アウトドアに精通した外国人によるマネージメントや情報発信が、国内外の観光客や移住者を多く集めることに成功している。

赤平市では、立抗やぐらを含む複数の周辺施設が

『炭鉄港』として日本遺産に認定され、ガイダンス施設を併設し、観光案内の拠点としている。

本委員会では、第6次総合計画や行政執行方針に基づき、『まるごと自然体験プロジェクト』などの事業を検証し、沼田町の特色ある観光を構築し、関係した人々との交流の輪が広がるシステムの確立が重要と考える。自然体験や交流人口の拡大に向けた取り組みの先進地が、行政との関わりをどのように持ちながら運営されているのか、今後も他自治体の事例を学び、施策の調査研究を継続する。下記の3点を中間報告とする。

1. 観光資源の再構築

観光客を引き付ける魅力ある観光資源が幌新地区に存在することから、数ある素材を結び付け、都会にいては感じることの少ない、自然体験や学び、沼田町の歴史を経験できる観光メニューの再構築が必要である。

2. 商店街の活性化

観光客数や交流人口対策を進めるうえで、受け入れ態勢の充実が不可欠である。特産品を活用したメニューや土産品などを開発し、町内店舗や食堂で提供できる仕組みを確立させ、活性化事業を更に進めることが重要である。

3. 交流人口対策

近隣の市町村と差別化を図りながら、互いに補完し広域的な連携を行い、情報の共有化や共同発信をすることが重要である。

コーディネータの存在が事業の内容に大きく影響することから、自然体験などに精通する人材の投入と活動を支える人材の育成が重要であり、これらを総括して対応する組織を作り、交流人口の拡大を目指すべきである。



赤平市の炭鉄ガイダンス施設にて

予算等審査 特別委員会



委員長 鵜野 範之

副委員長 篠原 暁

3月12日~17日

3月11日に第1回定例会が開会し、令和2年度予算案などが提出されました。

条例案・予算案が予算等審査特別委員会に付託され、4日間にわたり審議しました。

総務財政課から地方財政対策のポイントについて説明があり、その後各課より予算の説明を受けて188件の質疑を行いました。

最終日に総括質問を行い、審議の結果条例案3件、予算案9件に意見を付して可決することに決定しました。

総括質問

LEDリースのメリットは



大沼議員
役場庁舎等の照明をLED化するにあたって、大型機械を設置するのと違い保守も含めたりリース契約の必要はあるのか。



全額を一度に払うと1億5千万円という試算がある。リースなら保守も含めて年4百万、

10年契約だと4千万ですむことから判断した。

非常用発電機のコスト



久保議員
非常用発電機を新たにゆめつくるにも設置するにあたり、人口3千人の町には不釣り合いな投資だと思うが。

町全体の避難を想定し、さらに冬期間の運用も考慮すると、ふれあいだけでは足りないかと判断した。

事業量と人員のバランス



篠原議員
令和2年度は新規事業が多く、職員の過重負担が予想されることから、人員の効率的配置と有給休暇取得推進が必要と思うが。

限られた人員の中で事業に取り組むために、効率の良い環境をつくる。各課横断的な見直しや、システムによる省力化に取り組む。有給休暇



中での事業に取り組むために、効率の良い環境をつくる。各課横断的な見直しや、システムによる省力化に取り組む。有給休暇

についても取りやすい環境作りを進める。

子育て日本への起爆剤



鵜野議員
令和2年度予算では、子育て関連事業が減っているように見える。子育て環境日本一を目指す沼田町としては、も

っとしっかりした柱が必要。やる気のある子どもたちへの特別な支援も必要と考える。



日本一レベルの施策をすでに行っている。支援策よりも移住家庭が困らない環境作りを目指す。特別な支援策も今後検討していく。

沼田町の介護の構造は、和風園までは手厚い反面、施設にまつわるイメージもあって旭寿園に進んでいかなない傾向がある。利用料金ではなく町独自の優遇策や、明

介護における構造的問題



久保議員
沼田町の介護の構造は、和風園までは手厚い反面、施設にまつわるイメージもあって旭寿園に進んでいかなない傾向がある。利用料金ではなく町独自の優遇策や、明

るイメージの施設づくりはできないか。



職員でスマイルプロジェクトを作り、選んでもらえる施設づくりに取り組んでいる。利用者への対応を最優先し、明るい施設づくりに取り組む。

不登校を予防するためにHY Per-Qu実施後の分析と交流が必要。適応指導教室はどのように実施するのか。子どもの気持ちに寄り添う教育をしてほしい。

不登校を出不さない環境を



長野議員
不登校を予防するためにHY Per-Qu実



上野議員
施後の分析と交流が必要。適応指導教室はどのように実施するのか。子どもの気持ちに寄り添う教育をしてほしい。

教育長 学校に確認をしながら、小さな芽のうちに対応をしていく。適応指導教室は沼田町教育支援センターという名称でゆめつくるに設置し、教育総合アドバイザーが指導する。子どもたちにとって最善の方法を選びながら進めたい。

◆主な事業予算◆

- 〈いつまでも幸せに暮らせるまちづくり〉
高齢者住宅等周辺整備事業ほか 2億9695万円
- 〈にぎわいのあるまちづくり〉
災害対応・現場管理システム導入事業ほか 6億8438万円
- 〈希望を育むまちづくり〉
沼田学園推進事業ほか 1億4217万円
- 〈安心・安全に暮らせるまちづくり〉
高齢者交通安全対策助成事業ほか 11億591万円

◆予算審査の結果◆

令和2年度は、昨年策定された「沼田町第6次総合計画」を受けて、横山町長による最初の政策予算実行の年になります。

新年度予算は、大型の施設整備事業などがなく、元年度と同規模を保っています。とりわけ「高齢者住宅等周辺整備事業」を中心として、町民が将来にわたって安心して沼田町に住み続けられるための事業予算が組まれており意欲が感じられます。

今後も沼田町が人口3000人規模を維持しつつ、町民の願いに応える努力とそれを遂行する職員の心身のバランスが取られていくことを望みます。

以上、本委員会に付託された条例案3件と予算案9件につき、各課各部署より説明を受け慎重に審査した結果、次の意見を付して原案どおり可決するものとして決定しました。

(1) 事業の効果的な再構築

今年度の予算には多くの新規事業と、それを遂行するためのプロジェクトが組まれています。限られた職員の人的資源を有効活用するために全体を精査し、効率化を目指して再構築されることを望みます。

(2) 選んでもらえる介護施設

既存の介護施設については様々な課題に対する現状分析を行い、新たに取り組む「高齢者住宅等周辺整備事業」との整合性を図りながら、町民から見て魅力があり選んでもらえる施設づくりを望みます。

一般会計 50億5000万円
特別会計 18億7700万円
総額 69億2700万円

全町的な災害対応は



伊藤 議員

今回導入予定の農業災害に対応する現場システムは、全町的な災害に適用することはできないのか。地域防災計画を軸に、役場各課が連携する方策は。

農業災害だけでなく、場合によっては人命救助にも活用できる環境を整えたい。防災マ

ップ改定の際に、システム活用を含めて各課の情報共有を図っていく。

沼田にふさわしい農業対策



畑地 議員

日本一ともいえる水田農業地帯の沼田町にふさわしい農業対策をどう考えるか。新しい農業の実証試験には議論もある。営農分類体系を示して、先進的な営農と経営のバランスに配慮したス

スマート農業を進めてほしい。



伊藤 議員

プロジェクトを組んで沼田に合ったスマート農業を検討しているが、報告できる段階に至っていない。大規模農業と、小規模でも生計が伴う花卉やトマトのバランスを取りながら新規就農を受け入れていきたい。



総括質疑で答弁する横山町長

議会事務局職員が交代しました

三年間お世話になりました。沼本次登主査が保健福祉課へ異動となりました。

沼本主査は議会事務局員としての知識が豊富で、事前準備や調整役として卓越した能力を発揮されていました。

議会事務局で得た多くの経験を活かして、一層のご活躍を期待申し上げます。



事務引き継ぎ

代わって中山裕樹主査が保健福祉課より異動となり、4月より着任しています。

みんなの広場

コロナに負けるな!!



おかもと よしひこ
沼田認定こども園 副園長 岡本 佳彦

一昨年の4月、ご縁があり三度目の沼田町勤務（前2回とも沼田小学校）として『沼田認定こども園』に勤務することとなりました。乳幼児相手の仕事は初めてで、大きな戸惑いもありましたが、かつての教え子のお子さんがいったり、明るく元気で個性溢れる園児達に囲まれ、楽しい毎日を送らせていただいています。

今年の冬は豪雪で有名な沼田でも、降雪量が大変少なくこども園の玄関先や駐車場の除雪は助かりました。

しかし、北海道内でも新型コロナウイルス感染症の大流行の影響で、不要不急の外出を自粛したり小中学校が休校となり、お休みしていただかなければならない園児もおり、園児だけでなくご家族にもストレスがたまらないか心配です。

こども園内は元気な園児達の歓声で包まれています。一日も早く終息に向かい、子ども達や保護者が安心してこども園に通える環境のもとで、ふるさと沼田を愛する元気一杯の「沼田っ子」を職員とともに育ていきたいと思えます。



「ハンカチ落とし」で元気に遊ぶ園児達

議会事務局の主な業務紹介

◎議会事務局に関すること

- ・ 議会運営の情報発信
- ・ 住民からの陳情、請願に関する事務



中山主査 浅野局長

◎監査委員事務局に関すること

- ・ 各種会議等の記録、書類や備品、関係図書の内容の保存管理
- ・ 議会議員に関する事務全般
- ・ 町行財政に関する各種監査・審査、町の指定管理者に関する監査
- ・ 住民監査請求に関する事務
- ・ 各監査結果の住民への公表
- ・ 監査委員に関する事務全般

あとがき

春の日差しが日増しに強くなり、農作業も本格的な時期となりましたが、新型コロナウイルスの猛威で、日々の生活や仕事にも影響が出ています。

年度替わりのこの時期は、友達や先生、職場の仲間や近所の方との別れや出会いの季節ですが、挨拶も遠慮しがちにご縁のあった人達が、異動してしまうのはとても残念です。

東京オリンピックも延期となりましたが、沼田町の雪で保管している桜が一気に花開いて、日本に明るい話題を提供できることを期待します。

広報特別委員

長野時敏 篠原 暁
上野敏夫 畑地 誉
伊藤 淳